

環境学習施設研究部会 報告

環境学習施設研究部会では、「環境学習施設ハンドブック連続講座(1)」をテーマに、5月28日(金)10:00~11:30、オンラインのセミナーGで開催し、出演者等を含め48名(ZOOM 29名、YouTube 配信 17名)の参加をいただいた。

(※映像記録をつぎのアドレスで公開中)

冒頭部 <https://youtu.be/qIwrEkIy4c8>

配信記 <https://youtu.be/j9qmEshj9iI>

----- 開催プログラム -----

代表挨拶

高月 紘 代表 (京エコロジーセンター)

環境学習施設ハンドブック(仮称) 趣意説明

山口茂子 幹事 (川崎重工業株式会社)

ハンドブック連続講座(1)

「ごみ処理施設における環境学習の変遷」

花嶋温子 副代表 (大阪産業大学准教授)

コロナ禍における施設運営について

小篠和之 幹事

(NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム)

環境学習施設の現状と本研究部会のご案内

鈴木榮一 事務局

(国崎クリーンセンター啓発施設)

冒頭の高月紘代表挨拶で、本研究部会の代表退任の辞があり、一同ショックを受けたが、今後も顧問として引き続きご指導いただくことになった。また、今秋の学会研究発表会では、退任記念講演会を開催する予定である。

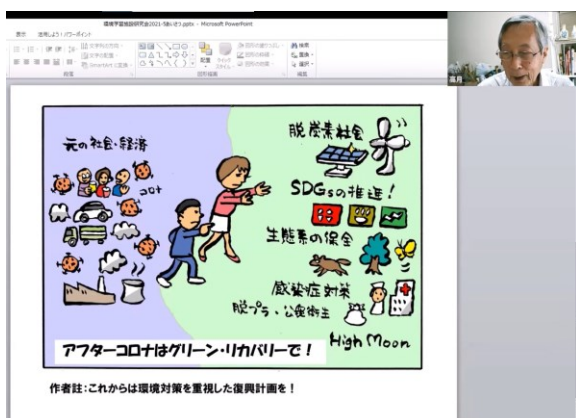


図1 高月紘代表のご挨拶

つぎに、幹事の山口茂子氏から、環境学習施設ハンドブック(仮称)についての趣意説明があり、連続講座の全体像を俯瞰した。

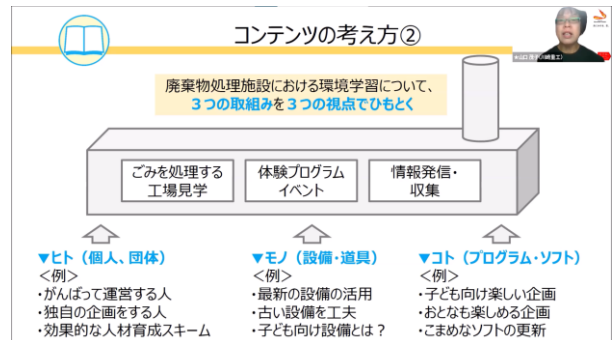


図2 ハンドブックの趣意説明(山口氏)

続いて、副代表の花嶋温子氏から、連続講座(1)「ごみ処理施設における環境学習の変遷」があり、日本の環境学習施設の歩みを辿り、現在の位置づけを確認できた。



図3 「連続講座(1)」の花嶋氏

さらに、コロナ禍における施設運営について、幹事の小篠氏から実践報告、そして事務局より環境学習施設・設備の現状と本研究部会についての案内があった。

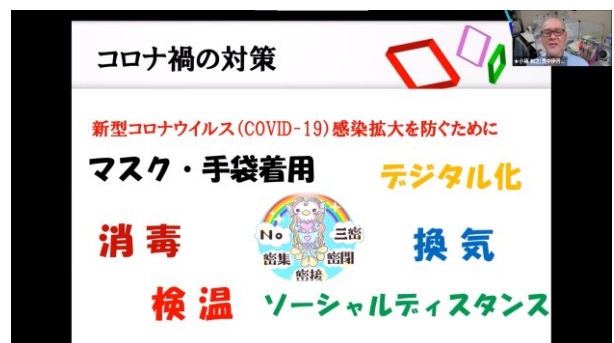


図4 コロナ禍における施設運営の小篠氏

最後に、活発な討議が行われ、充実した研究討論会の締めくくりとなった。

鈴木榮一(環境学習施設研究部会 事務局)